



社民・市民フォーラム 議会報告

2019年9月議会号
第48号

鹿児島市山下町11-1
電話 099-216-1438
FAX 099-226-1019

保育士さんに家賃補助を検討

市議会九月定例会は九月三十日、十五億九七〇〇万円の補正予算を可決し、終了しました。尚、社民・市民フォーラム市議団は、大森議員が個人質疑を行い、当局を質しました。又、私たちの会派が提出しました、来年度政府予算要請の為の「地方財政の充実・強化を求める意見書」は全会一致で可決されました。

大雨による災害復旧など、
補正十五億九七〇二万六千円を可決

9月議会

停留所

今年の7月から、武岡台小学校の教室をお借りして、第一児童クラブ、第二児童クラブとして再スタートしました。これまでの手狭な、しかも古いプレハブという決して環境的には好ましくないところから、安全面も含めて大幅に環境は変わりました。以前よりスペースが広がった第一・第二児童クラブでは、子ども達がゆっくり本を読んでいる姿が見受けられます。

保育士不足への対応

六月の末から七月初旬の大雨により、被害を受けた土木施設や農用施設などの復旧に、十一億六千万円が充てられます。



六月の末から七月初旬の大雨により、被害を受けた土木施設や農用施設などの復旧に、十一億六千万円が充てられます。

盛岡市は月額5万5、000円を補助基準の上限として、その4分の3の補助江戸川区は上限8万2、000円を補助基準の上限として、その8分の7の補助を行っています。本市も検討すべきではないか。

保育士不足への対応として、国・市町村それぞれ2分の1、保育園等の設置者に補助する場合は、国が2分の1、市町村・設置者がそれぞれ4分の1となっております。

また、1人当たりの月額補助基準額の上限は8万2、000円となっております。

活字離れが言われる中で、子どもたちに多くの本と接していける条件が、拡がっていくことを願っています。

公共交通は、今や福祉政策

問 ①バス運行対策費補助金の補助対象経費、主な補助要件をお示し下さい。

②平成30年度に鹿児島県バス対策協議会において地域間幹線系統として認められた、補助の対象となっている県内の路線の系統数、国・県・県内市町の補助金の交付額は、

答 ①バス運行対策費補助金の補助対象経費は、経常費用と経営収益との差額で、主な補助要件は、複数市町村にまたがる定期運行路線で、1日当たりの運行回数が3回以上、輸送量が15人から150人未満であること。



②平成30年度における県内の補助対象系統数は、77系統で、補助金額は、国、県が、それぞれ4億9,278万5千円、県内市町が1億2,549万7千円です。

問 森市長に伺います。市交通局はバス20路線を民間移譲する計画が動いています。移譲にあたっては移譲する路線の運行経路と便数を原則3年間維持するという大前提は、現在の民間事業者の労働者の

労働条件を変えないということが基本的に考えられているものと認識しますが、今日、慢性的なバス運転手不足は社会的な問題にもなっていますし、バス運転手不足を解消するためには、賃金をあげたり、労働時間を削減していかなければなりません。仮に、路線の民間移譲がなされた場合でも、3年間の中で赤字になっていく可能性も否定できません。そういう意味では、新たな補助制度の検討を始めるべきだと

問 避難所の環境整備や解説・運営等の改善について

答 避 難所では、空調設備

があるのは、97箇所、小れていきます。また、病気の状況も含め、他都市の状況も調査するなど、より効果的、効率的な方策を、研究してまいります。

災害に於ける避難指示や避難所運営の課題は

あるが、施設管理者にとっては、費用の問題などもあ

るので、施設ごとに判断さ

る。施設ごとに判断さ

と考えますが見解を伺います。

答 交通局が民間事業者に移譲する路線については、運行経路や便数を原則3年間維持することになっており、当該期間経過後も、可能な限り、路線や便数を維持していただけるものと考えておりますので、まずは、その運行状況を見守ってまいりたいと思

守りつコミュニケーションバス

問 平成30年度の交付額が高い路線及び低い路線の交

付額、利用者数、一人当たりの交付額及びその理由は。

答 30年度の「あいバス」一人当たり交付額の最も低い地域は、利用者数が多いことなどから、谷山南部地域で446円、補助金交付額は約1254万円、利用者数は2万8,140人です。

また、一人当たり交付額の最も高い地域は、利用者数が少ないことから、小野・伊敷地域で5,400円となっております。補助金交付額は約623万円、利用者数は1,154人です。

問 あいバスの耐用年数の考えはあるものなのか。さらに買い換える場合の負担は

答 あいバスの更新時期につきましては、それぞれの運行ルートの道路状況や走行距離などにより異なるものであり、買い替える場合の負担につきましては、時期も含め、検討してまいりたいと考えております。